

別添（第1条関係）

消臭脱煙装置付電気炉点検業務実施要領

1 目的

愛媛県原子力センターに設置している消臭脱煙装置付電気炉（2式）（以下「当該機器」という）を正常な状態で稼動し、使用するため、当該機器の点検を行う。

2 対象機器及び交換部品

別紙1のとおり

3 設置場所

愛媛県八幡浜市保内町宮内1番耕地485番地1

4 点検概要

委託業務は、次により行うこととし、その範囲及び詳細は、別紙2「消臭脱煙装置付電気炉点検表」のとおり実施すること。

5 点検条件

- (1) 当該機器に関し知識と経験のある専門の技術員により実施すること。
- (2) 点検に伴い交換が必要となる部品や軽微な消耗品の交換は本点検に含むものとする。
- (3) 作業終了時には、各種設定値を確認するとともに、正常動作を確認すること。
- (4) 点検作業により発生した不用品は受託者で適正に処分すること。
- (5) 点検状況の写真を撮影し、実施報告書に含めること。
なお、部品交換においては、交換前、交換中及び交換後の写真を撮影すること。
- (6) 点検内容に疑義が生じた場合は、当センターの監督職員へ確認すること。

6 報告

受託者は、点検結果を別紙2「消臭脱煙装置付電気炉点検表」の内容を満たした点検表により報告すること。

7 不具合への対応

(1)受託者は、当センターから本契約の対象機器について、不具合発生連絡（夜間及び土・日曜日その他の休日を除く平日昼間の時間帯に限る）があった場合は、当センター職員が実施する復旧作業等への技術的助言を行うものとする。

(2)前項における作業により不具合が復旧せず、当センターから調査及び修理等の依頼があった場合は、受託者はこれに誠実に対応するものとする。

ただし、これに要する費用については、別途、契約の締結または文書により合意したうえで実施するものとする。

(3)上記(1)及び(2)の期間は、本業務終了後も当該年度内は継続するものとする。

8 その他

その他、疑義が生じた場合は協議等を行うこと。

9 準拠基準等

- 日本産業規格（J I S）
- 日本電気工業会規格（J E M）
- その他必要な規格・基準等

別紙 1

対象機器一覧

機器名	仕様、品番	数量
消臭脱煙装置付電気炉	T F F 80 C Y	2

交換部品一覧

機器名	仕様、品番	数量
白金触媒	NS-A-TL	2
活性炭	TC4R-TL	2

別紙 2

消臭脱煙装置付電気炉点検表

点検内容（年1回）

消臭脱煙装置付電気炉

2台

1 制御部

点検箇所	点検内容	点検結果
漏電ブレーカー	テストボタンを押し漏電ブレーカーがトリップ動作することを確認	
電源スイッチ	電源スイッチを入れ装置の運転が始まることを確認	
集合灯	内部に有害な損傷・異常な変色・腐食などの異変がないことを確認	
各種電気部品	内部に有害な損傷・異常な変色・腐食などの異変がないことを確認	
温度センサー	破損が無いことを確認 温度コントローラーのモニターが正常に温度測温値を表示することを確認	

2 負荷部

点検箇所	点検内容	点検結果
炉昇温	別紙3灰化パターン表のパターンBについて、温度制御が正確に実施されていることを確認 (データとして記録計に保存すること)	
分解層昇温	分解層の温度が600℃で30分以上平衡状態にあることを確認 (データとして記録計に保存すること)	

3 警報動作

点検箇所	点検内容	点検結果
灰化炉一次温度警報	炉内温度測定値がアラーム仮設定値になったときに警報ランプが点灯し、同時に負荷出力を停止することを確認	
灰化炉二次温度警報	炉内温度測定値がアラーム仮設定値になったときに警報ランプが点灯し、同時に負荷出力を停止することを確認	
熱分解層一次温度警報	熱分解層内温度測定値がアラーム仮設定値になったときに警報ランプが点灯し、同時に負荷出力を停止することを確認	
熱分解層二次温度警報	熱分解層内温度測定値がアラーム仮設定値になったときに警報ランプが点灯し、同時に負荷出力を停止することを確認	
処理部ブロワー異常	モーターリレーのテストボタンを押して、警報ランプが点灯し、同時にブロワーへの出力を停止することを確認	
冷却部ブロワー異常	モーターリレーのテストボタンを押して、警報ランプが点灯し、同時にブロワーへの出力を停止することを確認	

4 灰化炉・熱分解層

点検箇所	点検内容	点検結果
灰化炉材	有害な損傷が無いことを確認	
灰化炉ヒーター	断線・腐食が無いことを確認 テスターで断線していないことを確認	
熱分解層材	有害な損傷が無いことを確認	
熱分解層ヒーター	断線・腐食が無いことを確認 テスターで断線していないことを確認	

5 触媒層

点検箇所	点検内容	点検結果
触媒	白金触媒の交換を実施	

6 吸収層

点検箇所	点検内容	点検結果
活性炭	活性炭の交換を実施	

7 排気層

点検箇所	点検内容	点検結果
吸引ブロワー	異音を発していないことを確認 回転がスムーズであることを確認	
冷却ブロワー	異音を発していないことを確認 回転がスムーズであることを確認	
冷却管	目詰まりがないことを確認	

8 筐体・炉扉部

点検箇所	点検内容	点検結果
外装	有害な損傷が無いことを確認	
蝶番、ハンドル	有害な損傷が無いことを確認	

別紙 3

灰化パターン表

パターン	A			B		
セグメント	温度 (°C)	時間 (h)	工程	温度 (°C)	時間 (h)	工程
SEG 1	常温→500	0.5	分解層	常温→500	0.5	分解層
SEG 2	常温→240	1.5	炭化	常温→240	3	炭化
SEG 3	240→300	1		240	3	
SEG 4	300	1.5		240→340	2.5	
SEG 5	300→340	5.5		340	2.5	
SEG 6	340	1		340→450	3	灰化
SEG 7	340→370	1		450	23.5	
SEG 8	370	1		0	0	
SEG 9	370→450	1.5		灰化	END (以降冷却)	
SEG 10	450	23.5				
SEG 11	0	0				
SEG 12	END (以降冷却)					
合計時間	38			38		